

## 保育のあり方検討委員会一次報告書に対する市民意見募集結果

・総件数	903件
紙提出(郵送・持参・ファクシミリ)分	821件
電子メール提出分	82件

## 保育のあり方検討委員会一次報告書に対する意見(紙提出分概要)

### I 市より検討を求められた論点について

項目	意見	件数
1. 公立保育所、私立保育所の役割	・公立保育園に新たな役割を求めるなら、予算とヒトを付けるべき。	1
	・公立保育園に期待する枠が大き過ぎる。	2
	・補助金を出せば、私立でも公立並みの保育を行える、という楽観論があるが、具体性に欠ける。	1
	・利用者のためにも保育者自身のためにも、公私の枠を超えて腹を割って話し合える継続的な場作りが必要。	1
	・対応が困難な子とそうでない子が日々一緒に生活する中で、子ども同士が思いやりを持つことを自然と覚える。そこを分断すること(「公立と私立の役割」と分けること)が、温かい心が自然に育つことを阻害していくかもしれないことに危惧を覚える。	2
2. 保育の質の向上	・公立、私立の保育の質には現実には差があり、十分な議論をし改善する必要がある。	3
	・公私間の情報交換や合同研修の機会を作り、保育の質を確保してほしい。	1
	・質の向上の具体的な手法を示してほしい。	2
	・現在の質を維持し、さらに船橋の保育をよりよくするためのものであってほしい。	1
	・正規・非正規の境目は子どもにはわからないのではないかな？	1
	・公立があるからこそ、私立も基準が保たれているのではないかな？	1
	・正規の採用を控え臨時を増やしているのは市の責任なのに、公立の正規比率が下がって質が私立と変わらない・・・というのは、市として恥じるべき。	5
3. 公立保育所の民営化	・民営化反対。	161
	・他市町村がやっているからという理由で安易にやらないでほしい。	4
	・待機児童が減るとは思えないから。	61
	・待機児童問題も、民営化することで努力せずに、責任放棄しようとしているだけ。	19
	・保護者との話し合いが不十分(具体的なことがわからず不安、情報を開示していない)。	70
	・行政が市民(子ども)の将来について責任を放棄したとしか思えない、行政の役割の再認識を。	48
	・大人の都合だけ、子どもには全く良いことがない。	9
	・耐震問題と民営化は別。	34
	・安心して子供を産めなくなる。	1
	・安心して長時間子どもを預かってほしいと願う親が多いのに、逆行している。	35
	・保育料値上げになるのは反対。	65
	・将来子どもを産んだ時に高い保育料になる不安を感じる。	2
	・少子化になる原因を市が作っているとしか思えない。	7
	・高い税金を払っているのだから、子ども達のために使う(耐震)政策を。	1
	・既存の園を民営化するのではなく、新設を民設にすればいい。	9
	・営利主義の民間には、安心して子供を預けられない。	26
	・公立を民営化する前に、民間を援助して待機を減らしたり、民間への保護者の信頼醸成などをしていくべき。	1
	・公共性の高い保育事業は国や市が責任を持ってやらなければならない。	5
	・民営化した園に公費を投入するならば、最初から公立でやるべき。	1
	・保育所にかかるお金を減らすなら、先に保育料や税金の滞納者への取り立てなどを行うべきではないかな？	2
	・現在の良好な人間関係が壊される。	100
	・保護者は公立を求めている。	7
・公平に全ての子ども達を育てる環境と、要支援者が利用する保育園を、同じ土俵で議論するのはおかしい。	5	
・入園した時から、卒園するまで公立に通えと期待して選んでいる。	3	
・バランスの良い職員配置、市全体で統一のとれた保育の質が保てる現在の公立のままでよい。	9	
・公立保育園の保育士はプロ意識が高い。	1	

保育のあり方検討委員会一次報告書に対する意見(紙提出分概要)

3. 公立保育所の民営化 (コスト)	・保育料引き上げやこども手当を保育や幼児教育に回す等も視野に入れてよい。	11
	・コスト削減は、保育や高齢者福祉などの“人”に関する分野は除いてほしい。	13
	・財政難であれば、子育て分野以外でコスト削減すべき(子どもや子育て家庭に向けないで)、それができないのは行政の怠慢。	45
	・財政難であれば、子育て分野以外でコスト削減すべき(公務員や議員の給与)、また事業仕分けして無駄を排除するのが先。	39
	・どれだけのコスト削減になるのか不明、納得がいかない(=子どもにとってのメリットを明確にして)。	108
	・財政が厳しいから民営化=弱いところに過度の負担を負わせるのは子ども達に心身の混乱を招く。	16
	・財源の使い方の問題であって、それは行政側の問題。それで民営化とはお門違い。 ・浮いたコストの用途が不明。	5 25
(環境)	・子どもたちへの精神的ダメージが心配。	61
	・詰め込み保育等、子どもの安全が守られない規制緩和は反対。	3
	・継続性が断たれることが不安。	9
	・民営化され、働きづらい保育条件を呑まされる可能性があり、解雇の危険性も出てくる。	4
	・突然の倒産などにより、預け先がなくなるかもしれない不安。	3
・民営化され、発熱やけが等によるお迎えに時間の制約がある場合、就労先に解雇を言い渡されるなど、働きづらい環境になる。	4	
(職員)	・公立の職員には責任感があるから反対。	2
	・民営化すると、保育士の人材育成ができない。	1
(サービス)	・時間外保育の短縮など、サービスの縮小になるかもしれないので反対。	5
	・民営化になると、給食の外部からの搬入があるから。	4
(質)	・質の低下=利益追求で保育士の待遇が悪くなり、結局質が落ちる(若い職員ばかりになる、退職者が増え保育士の定着率が悪くなる・・・等)。	45
	・アレルギー対応ができなくなったり、専門職(看護師・栄養士等)の配置がなくなる。	30
	・私立では良質な質(発達支援保育)を保つことができるとは思えない。	14
	・公立保育園では職員が親身になって若い親の相談に乗っている、その良さを奪って民営化する意味がわからない。	3
	・民営化した他市の成功例などは聞いたことがない。	23
	・公立が全体のレベルの基準になっているはずだから、それをなくすのは良くない→質が落ちていく。 ・正規職員比率がさがるのではないか？	1 1
(条件付き賛成?)	・行政として責任を持って、任せっぱなしにしないようにしてほしい、誠意ある対応を。	4
	・保育士の移動(残留?)や給食など、子どもにとってベストな状態であること(様々な質の維持)と、保育料の値上げがない、移行に1年以上かけるのならよい。	24
	・TV保育なし、外遊び重視。	1
	・親にとって安心して通えたり、預けられる場所(質の担保)であるなら、絶対反対ではない。	4
	・個性的な園ができる=独自のサービスが提供できる。	1
	・良い保育園を増やすにの民間の力を借りるのであれば反対ではない。	3
	・障害児の受入れ体制の整備。	6
	・待機児童が減るならよい。	1
	・他市の事例をよく研究して、問題にはどのように対処しているかを情報収集する。	3
	・全て一括の民営化ではなく、2~3民営化し、他を残して検証する・・・など、市民が選択できるような方法をしてほしい。	1
	・民営化園の保育士の待遇確保。	2

保育のあり方検討委員会一次報告書に対する意見(紙提出分概要)

II 保育のあり方に関する提言

1. 保育所に入所を希望しているが入所できない待機児童への効率的な対応		件数
<p>&lt;1&gt; 保育所待機児童への効率的な対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体性に欠けている。</li> <li>・保育園増設(公立)。</li> <li>・保育士の数はそのまま、詰め込むのか? 事故対策は?</li> </ul>	1 63 1
	<p>&lt;2&gt; 一時保育制度の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体性に欠けている。</li> <li>・「一次保育発達支援児枠」親の就労なし、10時から14時、週3~4日通所、食事時の親の介助あり「通常型」支援児で、親はフルタイム就労。</li> </ul>	1 1
	<p>&lt;3&gt; 家庭での子育ての支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専業主婦が子どもと離れたいのであれば、民間でサービスをうければいい。働く親は、保育園に預けたいからといって余暇活動をしているわけではない。</li> <li>・人それぞれ求めているものは違っており、それらをリサーチ分析し、各家庭に合った保育環境を提案し、市民に「選択」できる状態にすれば需要を分散できてよいのではないか?</li> </ul>	2 1
2. 地域で暮らす乳幼児期の子どもと家族(特に3歳未満児親子)への支援のあり方		件数
<p>&lt;1&gt; 保育所の機能強化</p>		
<p>&lt;2&gt; 子育て支援ネットワークの構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師や民生児童委員の連携を強化し、地域の母子状況の把握をする。外(場、機会)に出てこない母子への支援を強化できる。</li> </ul>	1
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協でボランティアが行っている子育てサロンに保健師、栄養士、保育士、心理士などが加わって、回数も頻繁に行えるようになるといい。行政との連携をとりたい。</li> </ul>	1
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政が家庭育児をしている母親のストレスと要望をきめ細かく聞きとり、地域の人々(子育てを終了した世代や学生)と手助けをしてほしい人々を安い料金で結びつける仲介役をする。</li> </ul>	1
<p>&lt;3&gt; 身近な相談体制の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困った時にすぐ飛びこめるような場の設定。</li> <li>・健診、相談、教室など、行政側が地域に出て行き活動を進める。</li> </ul>	1 1
3. 保護を必要としている子どもと子育て家庭への地域支援体制		件数
<p>&lt;1&gt; 要保護・要支援児童や家庭の支援の充実</p>		
<p>&lt;2&gt; 障害児・発達支援児支援の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的内容がない。</li> <li>・小さいころから、障害児と健常児の触れ合いが必要なので、障害児は公立、健常児は私立という意見には大反対。</li> </ul>	1 1
<p>&lt;3&gt; 児童虐待対策の強化</p>		
4. 保育施設など子育て支援施設の役割分担と連携		件数
<p>&lt;1&gt; 子育て支援施設などの適切な役割分担</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立保育園は関係機関のパイプ役だから、民営化されたらその役割が果たせるか?</li> <li>・市の子育て支援センターや児童ホームより、民間のサークルや教室のほうが素晴らしい。</li> </ul>	3 1
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士、幼稚園教諭、保健師、看護師などの専門職種が子育て等のために退職せざるを得ない場合、ファミサポなどの案内冊子を配布しておき存在を知らせておくと、将来的な人材確保になると思う。</li> </ul>	1
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校区内に「乳児遊び館」を作る。</li> </ul>	1
<p>&lt;2&gt; 子育て支援施設などの連携の強化</p>		
<p>&lt;3&gt; 保育施設の交流の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園、公私立保育園が横のつながりを持ち、話し合いを重ねるべき。</li> </ul>	3
5. 既設保育所の耐震対策、保育の環境整備と質の担保		件数
<p>&lt;1&gt; 公立保育所の耐震対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市で作った建物なのだから、責任逃れをしないでほしい、市民を裏切らないでほしい。</li> <li>・民設だと国の補助が出るというが、国に財源はあるのか? すぐ打ち切りなどにならないか?</li> </ul>	20 1
<p>&lt;2&gt; 保育の環境整備</p>		
<p>&lt;3&gt; 保育の質の担保</p>		

## 保育のあり方検討委員会一次報告書に対する意見(紙提出分概要)

一次報告書の項目なし・その他

項目	意見	件数
委員会自体について	・報告書を読むと、民営化ありきの検討委員会であると感じられる。	27
	・「公立保育園のあり方」と限定すべきだったのではないか？	2
	・当事者を交え、十分な検討・準備期間を設けるべき、勝手に進めないでほしい、現場を見てほしい。	35
	・他人の子どもも自分の子どもと思って議論してほしい。	4
	・本当に保育を良くしようと思ってやっているようには思えない。	3
委員会での議論について	・論点まとまらず、結論のない会議内容(=民営化する必要がないからではないか)。	2
	・「子どもにとって良い方法」「子どもの幸せ」についての議論がないことに愕然とした。	1
	・「箱物を増やすことは市民の了解を得られない」とあるが、待機児童の多い現状では本当に必要なものには、市民の理解も得られるはず。	1
一次報告書全般について	・民営化するのかわからないのか、わからない。	1
その他	・赤字覚悟で保育園を増やし、船橋のイメージアップをはかり市民の信頼を得るべき。	2
	・公平に財政を分配したいなら、在宅児に補助金を出すとか、1歳になったら親の就労に関わらず子ども園に入園できるとか対策を考えればいい。そのために公立施設を増やすとしたら、地域人口動態を考慮して、子どもが減ることも視野に入れ、高齢者にも対応できるハードの整備をすべき。	1
	・民営化するなんて、船橋市民として恥ずかしい。	1
	・船橋の保育はとてもよい、中核市として誇りを持ってほしい。	2
	・周りの顔色をうかがうのではなく、未来を担う子供たちの将来を真剣に考え、市役所内部でもう一度検討せよ。	1
	・ある市議会議員の一言で決まってしまうなんて、弱者をいじめないで。	2
	・一部の人の金儲けの匂いがプンプンする、余計なことをしないでほしい。	2
	・ある市議会議員の「モンスターペアレント発言」には、子どものことを本気で考えている親が悲しんでいる。	1
	・民営化を進めるのであれば、賛成派が多数を占める自民党系市議を船橋市議会野党においこむしかない。	1
	・建設の出の議員と、建設会社との利益重視の園舎建替えがないとはいえないのでは？	1
	・市は子どもを企業に売り飛ばすのか？	1
	・子ども達を第一に考えた独自の施策はできないのか。	1
	・民営化して問題が起こった場合、市長が責任をとれるのか？	1
・マンションが増えることで、子育て世代が増えることは予測がついたはず。もっと早く検討すべきだったのでは？	1	

保育のあり方検討委員会一次報告書に対する意見(電子メール提出分概要)

一次報告書の項目	意見の内容
I 市より検討を求められた論点について	
1. 公立保育所、私立保育所の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれ特徴を生かす運営が相互でしやすいようにするための行政の役割に大変期待する。</li> <li>・公立保育園・私立保育園の役割についてただ話を羅列しただけで、今後について不明確で、結論のでない会議のように思える。</li> <li>・公立と私立では差がないと言っているが、それは最低の基準においてであり、別途料金や食物アレルギー対応など受け入れる幅において、大きな差がある。</li> <li>・保育所を利用する立場からは、公立も私立もない。たまたま近くがどちらかだったというだけ。どちらであろうと安心して十分な保育が受けられることが絶対必要。アレルギーの子が私立保育所から転園せざるを得なかった話があったが、「地域で子育てを支える」という姿勢と矛盾する。認可保育所である限り、市民から見れば頼れる子育てのパートナーであるべき。実際の保育の現場では、条件が悪くなる中で親育てや地域の子育て支援まで力を尽くし、がんばっている。その現場から見て、私立の「預かりやすい子」「安上がりの保育」という方向性は、市民にも現場の職員にも受け入れがたいのではないかと。また、保育所が決定的に足りない現状で役割分担を考えても、机上の空論に過ぎない。</li> </ul>
2. 保育の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の質とは何かという定義づけがなされておらず、まず船橋市の子どもに対してどのような保育が望ましいのか整理する必要がある。</li> <li>・保育の質についてほとんど議論されていないため、保育園園長など現場の実践者の意見がほとんど生かされていない。</li> <li>・学力の向上が国益につながると考えるならば、小中学校期だけでなく、幼児期に金をかけなければならない。保育士、幼稚園教諭、看護師、栄養士、調理員など、子どもに関わる人的資源を整え、維持していくということ。人的資源は一朝一夕には育たない。保育士、幼稚園教諭の離職率はとても高く、質の良い保育を行うためには、待遇の改善が不可欠である(ワークライフ・バランスと言い換えてもいい)。</li> </ul>
3. 公立保育所の民営化	
反対(理由なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立保育園の私立化に反対。</li> </ul>
公立保育所だけが民営化の対象ということに対する疑問	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立小学校は委託されないのに、保育園だけ民間委託されるのか。</li> <li>・民営化による経費削減が必要なのであれば、保育園をターゲットにするのではなく、もっと心身が发育している高校や中学校をターゲットにするべき。</li> </ul>
民営化はメリットがない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には民営化は、百害あって一利ぐらいだと思っている。船橋市が培ってきた「良い保育の下、子どもを育てたい」という風土を壊さないでほしい。</li> <li>・待機児童の減少、民間と公営の教育のバランスをなくすという点において民営化を行って良化される根拠がない。</li> </ul>
民営化の理由が理解できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税金を使って不公平、耐震補強のため等が民営化の理由になるのは理解できない。</li> </ul>
民営化で問題がすべて解決するわけではない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・待機児童の問題、児童虐待の問題、耐震化の建替えの問題、全てが民営化によってできる予算や人材で解決できるかのように錯覚してしまう。</li> </ul>
待機児童対策は民営化の理由にならない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・待機児童が多いから「公立を民営化」なのか。待機児童の多さを理由に公立を民営化にというのは論理のすり替えでしかない。</li> </ul>
保護者のニーズは、「安心して」預けられること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民営化がすべて悪いとは思わないが、利用する側のニーズを把握してほしい。働きたいから預けるのではなく、安心できるから預けて働ける。</li> </ul>
民営化は、市の問題の丸投げ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立保育園の民営化は、市でできなかった問題をすべて民間に丸投げしているようにしか思えない。</li> </ul>
国の補助制度は公立保育園を否定するものではない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の補助制度が民営化を進める形になっている印象をうけるが、公立保育園を否定するものではないと思う。一部を取り出して民営化の理由にしてはならない。</li> </ul>

保育のあり方検討委員会一次報告書に対する意見(電子メール提出分概要)

<p>財政難を理由とした民営化への疑問</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政難を子どもに押し付けるのは間違っている。</li> <li>・財政効果のためだけに、民営化を進めることに疑問を感じる。</li> <li>・保育の質が大事とされているが、コストの話がメインになっている、元来、保育や教育にはコストがかかるもので、黒字財政の船橋市においてコスト削減のための民営化の話が進んでいるのはおかしい。</li> <li>・民営化にあたり、現在在職している保育士や通園している園児、保護者に対してのメリットが詳細に分からずに、市の財政難を解決に力を入れている印象しか受けてない。</li> <li>・「市は、お金がないから民営化したい」という気持ちを感じられる。しかし、現実にはいくら足りないのかという詳しい説明は、一切書かれていない。</li> <li>・公立を維持するための試算はしたのか。保育料をどの程度まで引き上げれば現状維持できるのかといった具体的な試算をしているなら全て公表すべき。保育課だけでなく他の課も含めて検討するのが当たり前。</li> <li>・歳出ばかりにこだわるのではなく、公立保育園によって得られる歳入にも目を向けてほしい。</li> <li>・民営化しても、待機児童対策や質の確保、多様な保育サービスへの対応のため保育予算は減らない。</li> <li>・コストがかかる時代なので、時間外保育料がかかってもしょうがない。その間も人件費がかかっているのは事実。とはいえコスト面からだけで、決して保育園を民営化させないでほしい。</li> <li>・民営化に伴う問題はいろいろと考えられるが、メリットは「経費節減」の一点。「保育」にとって何が重要なのかを考えたとき、問題だらけの民営化には賛成できない。</li> <li>・民営化で生まれる財源・人材の有効活用について、どれだけ浮いて、何に使うか納得できる資料の提示がなければ、子どもに負担を負わせる民営化は絶対反対。</li> <li>・お金の話ばかりで子どものためを考えていない。人や技術、経験など金で解決できないことがある。</li> <li>・子どものことより、保育上必要な人件費や運営費のコスト削減に目がいつていることに疑問を感じる。</li> <li>・効率化、コスト削減のために子どもが生活するほとんどの時間を占める保育園を犠牲にするのは理解できない。市の宝であるベテラン保育士を保育園から追い出すのか。</li> <li>・市の財政難は聞いているが、子どもの成長と財政難を天秤にかけられるような形はいかがなものか。</li> <li>・民営化されても公務員である保育士は解雇されないで、支払われる給与は同じまま。</li> <li>・日本の家族関係予算が欧州諸国と比べて少ない中で、なぜ国に対して先進国並みの予算要求をせずに、公立保育園の民営化で子どもに犠牲を押し付けるのか。方向が逆。</li> <li>・財政難を生んだ責任は行政にある。財政難＝保育所の民営化の説明がない。少子化問題を解決するには保育制度を市民が安心できるように改善すること。この議論は保育の専門家の検討委員会</li> </ul>
<p>保育の経費を減らすのではなく、他の無駄な経費を削減すべき</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代育成を担う保育・教育こそ、必要な公務員数と経費はもっと増やされるべきで、減らすことはあってはならない。他の無駄な経費を削減すべき。</li> <li>・民営化する以前に市政経費で削減できることは他にないのか。</li> <li>・市政の中で広い分野でのコスト削減により、民営化を回避してほしい。</li> <li>・財源が厳しいのは理解できないわけではないが、保育以外に削減できるところがたくさんあるはず。</li> <li>・市の財政が逼迫しているとは思えないし、もしそうならば、そんな財政にした市議会議員たちの給料をまず下げるべき。</li> <li>・市職員全体の給与改定や、保育料の値上げなど、公立保育園民営化以外の策を本気で検討したのか。子どもへのダメージが生じる民営化は最後の手段とすべき。政府が子育て重視の政策姿勢を打ち出している中、「子ども軽視」と言われても仕方がない。</li> </ul>
<p>国庫補助を期待した民営化に対する懸念</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去に公立保育所への補助金が一般財源化(地方交付税交付金として国から配付される)されてしまったように、私立保育所への補助金もなくなることも想定して民営化を検討した方がいい。補助金から交付税に変わった途端に保育予算が削減されることのないようにしてほしい。</li> <li>・国の補助を当てにする民営化検討への疑問。国の補助があるうちにはなく、「船橋市らしい保育」とは何かを検討してほしい。</li> <li>・私立の方が安上がりという主張は根拠が明確ではないし、公立の方が自治体の負担が大きいのも国の施策によるものであって、市民の責に帰することはできない。また、単に民間法人に運営委託するだけでは運営費国負担の対象にはならず、公立保育所の土地・建物の貸与あるいは譲渡など市民の財産の処分をとまなうことになるから、慎重な検討と判断が求められる。問題は、国費の投入が可能となる状況をつくり出すことであるから、官民あげてその方向で手を尽くすべき。</li> </ul>
<p>民営化により捻出された財源の使途が不明確</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民営化によって市が保育園の建て替えをしなないのであれば、その分の税金はどのように使われるのか。一般財源なので、子どものためのお金が他へ使われるのではないか。</li> <li>・民営化した際の試算が全く記載されていないし、仮に民営化して浮いたお金は何に使うのかも明示されていない。</li> </ul>
<p>保育にお金をかけていい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの納めている税金を保育に使ってもらって結構なので、民営化しないでほしい。</li> </ul>
<p>これ以上の公立保育所の経費削減は不可能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の公立保育園は臨時職員が半数を占め、その臨時職員は1年目も10年目も年収は変わらず200万ちょっと。これ以上削るところはない。</li> </ul>
<p>財源・人材の有効活用は論外</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「民営化によって生まれる財源・人材を有効活用」とあるが、子育て視点からは論外。</li> </ul>
<p>継続して通園できるのか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民営化への移管時でも継続して保育園に通えるのか。</li> </ul>
<p>デメリットを受けるのは小さい子ども</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民営化はメリットもあると思うが、デメリットもあり、そのデメリットを受けるのは小さい子どもであることを忘れないでほしい。</li> </ul>

保育のあり方検討委員会一次報告書に対する意見(電子メール提出分概要)

民営化するにしても子どもの負担がないように	・民営化する場合は、子どもへの負担がないように段階的に行ってほしい。
民営化の子どもへの影響を見過ごしている	・「民営化について、子どもへの影響があると決めつけることはできない」という民営化に賛成意見があったが、他の自治体での民営化で多少なりとも影響を受けた児童がいた。それを見過ごそうとするのは酷過ぎる。
急激な民営化に対する懸念	・急激な民営化は予算数値上は一見効果的に見えるが、保育の現場に混乱を生じるだけの乱暴な措置であり、その結果訴訟や係争に発展する可能性もあると思う。 ・入園後に民営化を知らされるとだまされた気分になる。仮に民営化になっても、事前にわかっている入園する親は、納得してその対象園に入園させるはず。現在公立保育園に通わせ、事前に情報を知りえなかった親としては、途中で変わることに不安が一番大きいので、5年は期間を据え置いてほしい。
子どもへの負担は一時的ではない。	・子どもへの負担は一時的と考えているのか。その時期は子どもたちに一度きりしか訪れない。 ・民営化への移行期だけ配慮するつもりなのか。 ・ガイドラインの作成やわずかな移行期間で保育が守られるとは到底思えない。
卒園までその保育園で保育を受けられることを期待している	・入園してから卒園するまでその保育園で保育を受けられると期待しているので、それを中断すべきではない。
保育環境が変わってしまうことへの不安	・民営化により保育の継続性が断たれることが非常に懸念される。 ・民間委託され、すべて新しい先生が入り、やり方も変わってしまうと子どもに大きな精神的負担をかける。 ・少子化で子どもが減り、大事な宝であるはずの子どもをこれ以上犠牲にしないでほしい。4月に入った子ども達(主に乳児)が、どれだけ時間をかけて保育士(担任)との信頼関係を築いていこうかご存知か? 毎日毎日の積み重ねで、少しずつ深めていくのである。対人間の仕事である。職員が全員入れ替わって、不安になる子どもの姿が目に見え、 ・これから民営化になり、なじみのある先生がすべて変わってしまうという話がある。絶対反対。給食は園内で作った暖かい食事を食べさせてあげたいし、先生が途中で変わるのには絶対反対。一番に子どものことを考えてほしい。 ・一人や二人先生が変わるだけでなく、「すべてが変わる」…。これが子供にとって、どんなに重大なことか。親として、これは絶対に望まない事。 ・一番気になっているのは、職員ががらっと変わってしまう事である。保育園は第二の家、保育士は親代わりである。その環境が大きく変わる事で、園児たちに大きな傷跡を残す事は、他の自治体でおこっている事をみれば火を見るより明らかである。 ・アレルギー対応しない、園の方針に合わない場合転園になるのか。先生が変わり、雰囲気が変わることで子どもの心にどう影響するか心配。 ・もしも途中で、知らない先生や雰囲気が変われば子供達も敏感に反応すると思う。 ・私立保育所では受け入れ拒否かお弁当持参となる。民営化されてしまえば、栄養士の配置は最低基準になく、財源の裏付けもないようなので、配置されることはないか、あったとしても少数だと予想される。 ・「児童憲章」にある「児童はよい環境のなかで育てられる」という環境が、大きく変わってしまうか不安。先生が変わることによる子どものストレスへのケア、アレルギー対応の食事の提供についてどう考えるのか。 ・大人でも環境が変わればストレスになる。いままで信頼していた先生が、突然知らない人ばかりになる。0歳から5歳の子どもに対してよくもそんなことができると思う。また、給食が仕出しになると聞いた。子どもの食事を犠牲にするなど考えられない。 ・東京都で民営化した保育園で先生が一斉に変わり、子どもが数ヶ月にわたり不安で寂しい思いをしたと聞いた。そのような事態は絶対にやめてほしい。
学童保育が公設公営化されたときの状況を聞くと不安	・学童保育が公設公営になったときの、指導員の採用試験に関する知人からの話から、公立保育園の民営化に不安を感じる。
民営化後の市の監督責任体制の希望	・民間委託された際も、市が監督責任を継続して持ち、関わりを持てるような仕組みを作ってほしい。 ・市がきちんと管理し、苦情などがあつたときには園を指導し改善する体制も必要。
民営化後の質の維持に対する市の補助体制	・公立か私立かということは関係なく、どれだけ丁寧に保育をしているかが一番大切。民営化を考えざるを得ないのであるならば、民間にすべてを丸投げするのではなく、一度預かった命に責任を持ち、物的環境、人的環境の最低限以上の保障を必ず実行してほしい。 ・民営化における保育の継続性の確保のために、引継ぎ保育や非常勤保育士の継続採用、園名や建物デザインなど公立保育園時代のイメージの維持、保護者組織の維持、公立・民間保育園間の人材交流、地域支援や発達支援保育・食物アレルギー対応に対する補助等の施策が必要である。 ・運営する法人の財務状況は、多くの保護者が心配する。法人が営利企業であれ、社会福祉法人であれ、赤字を出し続けて破綻の恐れがあれば撤退の問題がある。市は、法人の経営努力の意欲を削がない程度に破たんリスクを引き受けてもらいたい。そのために市が当該の法人に出資することも検討の価値がある。
民営化後の保護者・市・法人からなる協議機関の設置要望	・今ある父母会を継続し、運営法人に問題があつたとき、市に相談でき、対処してもらえる仕組みを残してほしい。 ・公立保育園が民営化された場合、市がオブザーバーとなり、保育園と保護者との定期ミーティングを5年間に渡り、継続していくことを保障してもらいたい。公立園の保育が当たり前と思う保護者にとっては、質の低下に危機感や不安感を持つのは当然。否応無く私立に行かせる保護者への配慮を欠かさないでほしい。
民営化時の引継期間や受託法人の選定は慎重に	・長い目で見ると民営化自体は悪いことではないかもしれないが、引き継ぐ期間や受託業者の選出方法は慎重に検討されるべき。強引に短期間で進めるものではない。

保育のあり方検討委員会一次報告書に対する意見(電子メール提出分概要)

<p>民営化の条件として、国より高い基準を望む</p>	<p>・万が一民営化されるならば条件として、国の基準よりも高い基準を船橋市は設けてほしい。</p>
<p>民営化するならば優れた法人の選定を</p>	<p>・公立保育園では育ちにくい保育サービスの「質」もある。優れた民間企業の従業員は、ルールにとられず、常に自らの頭で最善のサービスが何かを考えることができる。そうでなければ市場で競争に負けるからである。保育士であっても同じで、このような方向性は、平均的な公務員には欠けている。民営化が避けられないのであれば、優れた法人を選定していただきたい。          ・国鉄の民営化によるサービスの向上など、民営化全てが悪いわけではないが、市のやり方が漠然とし過ぎている。民営化するならば、公立保育園の保育内容を維持できない民間企業はあり得ない。</p>
<p>質の低下への懸念</p>	<p>・このまま、子どもが楽しく、のびのびと通園してくれるだけでいい。先生が変わったり、給食が手作りでなくなったり、現状の質が落ちることだけはやめてほしい。          ・現在公立保育園に入園している児童の保育環境がマイナスへ変わることは絶対に許されない。行政訴訟対象である。          ・保育の質の低下・保育士の大幅な入れ替えや、保育料の引き上げ等、今までの公立保育園との落差があるようなので民営化は反対する。          ・コストを削減し、キャリアのある保育士は高く雇えないので若い保育士ばかりになる。経験のある保育士と、若い情熱の保育士と一緒に仕事するのが理想。          ・民営化された場合、公立のノウハウがどうなるのか。補助金を出しても質の維持ができるか疑問。例えば、発達支援児の受入れに補助金を出して人を雇っても、「見張り」ではなくその子にあった「保育」はできない。          ・経験のない保育士が増えたり、看護師がいらないと思うと不安。          ・公立では若手からベテランまで幅広い先生がいた。民間は若い先生ばかりで、子育て経験者も少ないと聞く。公立のよさを捨てて、民間委託する意味があるのか。          ・アレルギー給食は民間や認可外保育施設には期待できない。経費削減の対象となる。          ・他自治体で、食物アレルギーには対応するとしながら、実際の対応はひどかったとの話を聞いた。          ・民営化により、保育の質、先生の質(人件費で若い先生ばかり等)、時間外や保育料のアップ、保育基準、保障など懸念材料がかなりある。          ・すべての子どもにとっての、必要な空間、人材、サービスを考えて民営化を考えてほしい。子どもへの福祉が薄利多売でサービスが低下することがないようにしてもらいたい。          ・民営化しても従来通り食物アレルギー対応をしてもらいたい。アレルギーを理由に認可外保育施設で受入れを断られ、職場復帰できていない。          ・民営化されれば、障害児やアレルギー除去食、低所得者といったコストのかかることや問題が起こりそうなりリスクを避ける。また、現在保育園を運営している法人に任せればいいと考えているかもしれないが、その保育園の経験者が分散されてしまうので、2つの園の質とノウハウが落ちてしまうことになる。          ・民営化による「新しいサービス」について具体的に何を指しているのか不明。具体例が前提とならない議論では、質の低下を危惧する保護者から反対意見が出てもしようがない。待機児童が増える中、完全に民営化されれば保育所が売り手市場となり、保育料の高騰や児童数を多く受け入れることによる質の低下が懸念される。          ・経営者の質や考えで保育方針が決まり、サービスにより料金が設定されるようなシステムでは、安定した保育を受けることができない。公立の公平な保育の中に企業が参入して今までの「保育の質」が保たれるのか。「保育の質」とは何か、早急に明らかにし、全ての保育従事者で共有しなければなら</p>
<p>保育が利潤追求の対象となることに反対</p>	<p>・保育所には低所得の家庭や障害を持った子どもたちが通っている。すべての保育に欠ける子どもを保育するのが保育所。民営化して儲けの対象にすることに反対。          ・民営化は営利目的。採算の取れない保育はしないのが民間(企業)。すべてがお金で計算され、子どもによって保育に差が出ることで、子どもの心に影響を与え、将来にとって良くない。</p>
<p>利潤追求による質の低下への不安</p>	<p>・民営化することは利益を追求しなくてはいけなくなり、保育の質の低下が起こる。一番大切なのは、子どもの大事な時期に大切に育てられる環境。          ・採算性の低い、障害や食物アレルギーのある児童の受入れを必ず行うか疑問。</p>
<p>民営化はサービス・質の向上につながるとは限らない</p>	<p>・民間運営＝サービスの向上・質の向上とは必ずしもならない。</p>
<p>保育料値上げの不安</p>	<p>・民営化になり、所得に応じた保育料から一律になって実質値上げとなり、経済的理由によって働かなければならないのに、子供を預けられなくなるとは、働くことができず、経済的貧しさから脱することができなくなるのではないかと不安。          ・民営化で費用負担が増えることが不安。ただし、費用負担を渋ったために保育の質が下がるなら、多少の負担増は仕方ない。          ・民営化され保育料が上乗せされるのは、昨今の雇用状況、経済状況から納得できない。          ・民営化されれば営利目的で、時間外、その他制服や追加授業などで料金が発生するのではないかと不安。          ・保育園が民営化されれば、保育料もある程度自由化される恐れがある。収入のある家は良い保育園に預けることができ、そうではない家庭は要件を守っているだけの保育園に通わざるを得なく、収入によっても「保育の質の差」が発生する</p>
<p>経営不振による撤退への懸念</p>	<p>・企業が営利目的で参入して、経営不振になればすぐに撤退してしまうのではないかと不安。</p>
<p>民間保育所に対する利用者保護の保障を</p>	<p>・民間保育園との契約時、入園後も利用者には不利な状況を強いられる可能性がある。利用者保護が明確でないかぎり、とても民営化に賛成はできない。</p>

保育のあり方検討委員会一次報告書に対する意見(電子メール提出分概要)

<p>私立保育園の保育に不安</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今は子供達がみんな平等な保育が受けられるが、民営化になったら家庭の経済力によって受けられる保育に差が出ると聞いた。今の園の雰囲気はとても良く、安心して子供を預けられる。この状態を崩さないで欲しい。</li> <li>・保育園の入所を考えている人や現在待機している人達が、民営化によって職員不足やオプションによるサービス提供などが不安要素になるのではと思う。</li> <li>・現在の私立保育園は園により保育の質の差が大きい。職員の転勤がなく、運営も基本的にはそれぞれの園独自で行う。この状況では園によって保育の質に差が発生することは必然で、それが解消される仕組みもない。</li> <li>・私立保育園は最終的に経費削減による利益追求に走る。園によって不都合な園児に退園させることが起きている。</li> <li>・「保育の質」を守るにはベテランの保育士は必要であり、ベテランに働き続けてもらうには保育園は保育士にとって「長く働ける職場」であることが必要だが、現在の私立保育園にはその姿がみられない。このような保育園を認可する民営化はとうてい賛成できない。</li> <li>・通っている私立保育園(市外)で保育士がごっそり辞めた。経営者の方針などでかたよった保育や運営がされている要素があると思う。</li> <li>・私立保育園は給料の高い年配の保育士を雇わないと聞いた。若い保育士は安月給で過労働で疲れきっている。コスト削減で子どもたち、保護者たち、先生たちにしわ寄せがいつている。</li> <li>・私立保育園では経験年数の長い保育士の育成が難しく、園長を公立保育園から引き抜かざるを得ない状況になっている。</li> <li>・サービスの押し売りはサービスの向上とは言わない。保育サービスに対してオプションの幼児教育や発表会などを望んでいるわけではない。</li> <li>・初めから私立で運営している保育園でも、問題があり子どもが犠牲になったり、保育士がすぐに辞めてしまったという事実がある。</li> </ul>
<p>保育園保育士の定着率が重要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士の定着率は重要な要素。保育は人が行うものなので、その「人」がたびたび入れ替わる環境では質の高い保育は行えないことだけはいえる。</li> <li>・「保育の質」を確保するには人的な環境整備が必要。公立保育園の保育士たちは公務員として身分が保証されているために、民間では成し難い無形の技術を伝承している。効率に追われ保育士が短期間でやめていく民営化後の保育園で同じ質を保つのは難しい。継続雇用の確保に民営化後の園がインセンティブを感じられるような施策が望まれる。</li> <li>・保育スタッフの処遇が悪くなり、定着率が低下しないか。人のつながりを大切にし、成長を見守る保育では、従事者が安定しないと、子どもたちも安定しない。</li> </ul>
<p>私立保育園の実態について資料を示してほしい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民営化の主要動機は私立保育所の運営費が安上がりということから出発している。私立保育園の「安上がり」の実態について、実際の職員に関する資料を示してほしい。市が適切な補助をして労働条件や保育条件を整備することが大事。</li> </ul>
<p>保護者への情報開示、説明を</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間委託の話が持ち上がり、公立保育園を利用する保護者、市民は不安。きちんとした説明、話し合いを行うべき。</li> <li>・公立保育園在籍児童の親には当事者として市から直接情報開示があるべきだ。今後、現公立保育園に関わる検討がされる場合には当事者に事前の通知と意見の吸い上げが行われなくてはならない。</li> <li>・なぜ民営化の必要があるのかを、納得できるように、きちんと目の前で説明してくれる場が欲しい。現実的に民営化の方向で話が水面下で進んでしまっているのであれば、具体的なスケジュールを明かしてほしい。そして実際に民営化するというなら、実際の親たちの心配ごとをきちんと受け止め、市と親たちで話し合い、お互いの理解が得られてからスタートしてほしい。</li> <li>・船橋市の一次報告書には民営化ありきで議論を進めているが、なぜ民営化ありきなのか説明責任があるはず。</li> <li>・すばらしい建物や基準や手順書を作ったとしても、手順書を見ながら仕事するような環境になってしまうと、肝心の「人」に目が届かなくなり、事故につながる。そうならないために十分に時間と誠意を尽くしてほしい。</li> <li>・報告書を読んだが、やはり具体的な内容が出ていないので賛成も反対もできない。民営化のメリット・デメリットを詳しく聞きたいのと、民営化にする必要性などを知りたい。</li> <li>・公立保育所の民営化について、市が求める保育が示されておらず、それを達成する為に公私でどのくらいコストが違うのか示されていない以上、民営化することにメリットがあるのか判断できない。</li> <li>・今後について検討するための材料(民営化による収支の変化、他の自治体のケースの分析)をもっと出してほしい。</li> <li>・志を持って長年経営している私立保育園と利益のために参入してくる企業は全く別物。そのことを市が保護者に説明するべき。多くの親は民営化されたときにどれだけの変化があるか知らない。</li> <li>・他の自治体の成功・失敗例を十分検討しているのか、説明が全くないのが不満。</li> <li>・「公立保育所は私立保育所より格段にコストがかかっている」ならば具体的に数字を示して、誰もが納得いくように説明してほしい。</li> </ul>
<p>民営化対象園の決定に対する事前説明希望</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親の意見も聞かずに民間委託園を決めないでほしい。</li> </ul>
<p>民営化の具体策を議論した上の提言を望む</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民営化した場合の具体策と民営化しない場合の具体策を含めた議論をしたうえでの提言を望む。</li> <li>・財政効果、現状の問題点への効果について具体的な裏付けを取った上で、この対策案を提示してほしい。また、利用者への情報提供や、現状把握が不足している。</li> </ul>
<p>議論を拡大し、本格的に検討できるように</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体制、スケジュール、住民参加の規模を拡大し、本格的に検討できるようにすべき。</li> </ul>

保育のあり方検討委員会一次報告書に対する意見(電子メール提出分概要)

<p>保育の公的責任</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市は、子どもの保育を担うことが責務。保育責任は、公的負担で行うべき。</li> <li>・郵便や教育や輸送などは、公的機関が運営するのが国民生活にとって必要。</li> <li>・少子化の中で国や市はまず予算を投入すべき。責任放棄して民間に任せるのか。</li> <li>・保育事業のような儲からない・継続性が求められることこそ公的機関の責任ではないか。次世代育成を考えると公立保育所の民営化は市の役割放棄だ。</li> <li>・福祉を営利目的の企業に任せて、国や地方自治体の義務や責任はどこへ行ってしまうのか。</li> </ul>
<p>公立保育所設置希望</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民営化せずに新しい市立保育園を作ってほしい。</li> <li>・多少料金が上がってしまっても、仕方がない、公立で少しでも園を増やせないか。</li> <li>・平成12年度から公立保育園の数は変わっていない(私立保育園はほぼ倍に増加)事に驚いた。船橋の人口増加や需要の高さは把握しているのに保育園は増やさず入所率を最大になるまでというも限界が見え、市として現実を見てない。</li> </ul>
<p>公立保育園をそのままに、私立保育園を増やす</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在市が運営している公立保育園はそのままに、民間保育園を新設するという事はできないか。</li> <li>・民営化に関しては絶対反対ではないが、新設する場合は法人等による私立保育所の設置・運営でいいと思う。新設であればいいというのは、既存の保育所が翌年度から突然民営化されるとなると保育の現場に混乱が生じるのが想定される(他自治体の事例等により明らか)ためである。</li> <li>・現在補うべき待機児童や一時保育への対応に民営施設をうまく充てること、その保育の質は公立保育園より低下させないこと、そして公立保育園との連携をとることが必要。</li> <li>・現在の公立園の民営化ではなく、新設で民設民営の保育園を建て、順次そちらに移行することはどうか。</li> </ul>
<p>公立保育所の維持・存続を</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大事に積み重ねて来た船橋の公立保育所を守ってほしい。</li> <li>・公立保育園に通わせている我が家としては、施設の耐震の問題を除き、現在の保育を維持してくれるだけで、何の問題もない。</li> <li>・営利を目的としていない今の公立保育所の質のよい保育を維持して頂きたい。</li> <li>・長年の保育のノウハウやネットワークを持つ公立保育園を存続させて、地域の中での情報発信するなどの有効活用することが市にとって有効。安易に民営化して手放すのはもったいない。</li> <li>・子どもに豊かな心と生きる力を身につけてほしい。そのためには今の保育園が最適。</li> <li>・保育園によって、保育の質やサービスが変わってしまうのは望ましくない。公立保育園はその点で統一性がとれる唯一の仕組み。</li> <li>・公立保育園は園ごとの保育士のレベルや保育内容が平均化されているが、民営化後、次第に独自性が顕著になると、ばらつきが出てしまい、自分の住む地域の保育園が、劣った園と感ぜられる保育園だったら不幸を感じる市民が出てしまう。公立のままなら市の職員としての研修もあり偏った保育園にならない。</li> <li>・なんとか公立保育園を維持しつつ、保育園に通っていない人にも行きとどいたサービスができるようお願いしたい。</li> <li>・思い出が深く、先生方への信頼も厚く、今のままで卒園を迎えたいのが正直な気持ち。</li> <li>・公立保育園は、ベテランも若手もバランス良く配置されている。この体制を変えないでほしい。</li> <li>・公立保育所は私立保育所の保護者にとっても、アレルギーなどで通っている園に通えなくなった場合の最後のセーフティネットであり、通園可能範囲にないと困る。</li> <li>・今の船橋市は、看護師・栄養士の加配、アレルギー給食の対応、保育料金の算定基準が明確であり、子ども、保護者が安心して保育園に通っている。現在の保育を維持できる検討をお願いしたい。</li> <li>・懐かしく思える場所、年月を経て行ってみることができる場所があるということはとても幸せなこと。卒園した子どもたちにも、この気持ちを味わえるようにしてやってほしい。</li> <li>・思い出の場所。なくさないでほしい。なくなったらとても悲しい。</li> <li>・卒園した園児が遊びにいつでも帰れる保育園のまま存在してもらいたい。</li> <li>・公立保育園を存続し、市の責任で子どもたちの成長発達を保障すべき。</li> </ul>
<p>船橋市の公立保育園は質が高い</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船橋市の公立保育園の保育の質の高さは他市にも誇るべきもの。</li> <li>・船橋市の公立保育園では、継承してきたノウハウによって、こどもの安全・安心が守られている。保育士が市職員として安定した労働条件であることや計画的な異動によって、格差の極めて少ない、保育の質が維持されている。非正規雇用の職員も長年勤め、親として安心。</li> <li>・船橋市の公立保育園のすばらしい点は、発達支援児も一緒に過ごせること。人格形成上大切なことが、自然と身につけている。</li> <li>・私立と公立のどちらの質が高いかは親が決めることであり比較するつもりはないが、公立保育園はアレルギーや発達障害など他の私立保育園や幼稚園に入れられない子どもを受け入れ、地域の子育てのセーフティネットとなっている。</li> <li>・食物アレルギーや発達支援保育、園庭開放での地域の子どもの交流、保育に追加料金が発生しないことなど、保育の内容が他市と比べてすばらしい。少子高齢化社会・格差社会問題が言われる中、公立保育園の存在は大変貴重である。</li> <li>・公立保育園の待機児童が多いのは、公立保育園の保育の質・内容に満足し、安心して預けられると思う親が多いから。</li> </ul>
<p>公立保育園の効率化を図るべき</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的に何にどのくらいコストがかかっているのかも、公立と私立の具体的な価格比較も一切明記されていない。公立はコストがかかるというのなら、民営にする前に公営のままでコストの見直しを図ればいいのか。そしてコストを下げても保育の質が下がらないことを望む。</li> </ul>

保育のあり方検討委員会一次報告書に対する意見(電子メール提出分概要)

<p>耐震対策と民営化は別物</p>	<p>・保育園の耐震対策と民営化の話は別物のはずなのに、コストの話だけで抱き合わせにして話が進んでいる点がおかしい。          ・なぜ耐震化と民営化がセットになるのか理解できない。上物だけの費用負担が子育て支援をしていると考えるのか。          ・「建て替えを公設で行うと全額市の負担になるが、民設で行うと国の補助が得られる」という理由だけで民間委託を考えないでほしい。          ・耐震化のため補助金が出るから民営化すれば市民の負担が減ると言うが、分かりやすいお金の話で民営化を促進しようとする本音を感じられる。公立のまま耐震化を図るべき。補助金がもらえることと、民営化をすることは全く別の議論。          ・「建て替えのために私立にすれば補助金が出る」には疑問を感じた。公立のまま補助が受けられるような整備はできないのか。          ・耐震工事の建替えと抱き合わせで民営化を進めようとしているが、別物の話。耐震工事は急を要するが、民営化は他市の失敗例を見ても慎重に進めるべき。</p>
<p>公立と私立、認可外保育施設などの共存・役割分担を</p>	<p>・公立と私立が共存できる可能性は必ずある。すみ分けをして役割分担をしていくべき。          ・深夜・休日の保育、リトミックや英語などのオプション保育等を望む人は私立や認可外保育所に行けば良いかもしれない。しかし、障害児や食物アレルギー対応、地域の子育て相談など私立や認可外でできない要保護・要支援対応を公立保育園で行わなければ、その子どもたちはどうになってしまうのか。          ・既存の民営保育所が公立保育所と変わらない質を提供できているのは、比較対象となる公立保育所があることが最大の要因。          ・認可保育所の役割は基本的に同じで、公・私による違いはないが、障害児保育など実態として違いが出ているのは大きな問題。公・私における格差を是正し、公・私ともに充実させることによって、民営化議論の必要のない状態をつくりあげることこそ、最も賢明な方策。公・私立保育所の役割が同じであって、公立保育所が存在するならわざわざ民営化する必要はない。今日の事態は、すでに地方自治体の努力の限界を超えた国政上の重大問題。もはや民営化の是非を論じている段階ではない。必要なことは政治的判断、政策的選択であり、市はこれまでの蓄積のうえに、公・私の保育所による保育制度堅持・格差の道を断固として進むべき。</p>
<p>発達支援保育などの受入拡大が必要</p>	<p>・発達支援保育は、経験を積み重ねた努力の賜物。私立保育園でも取り組んでほしいが、コストを確保してもすぐにはできない。公立のノウハウを私立に伝え、より多くの発達支援児を受け入れるべき。それまで公立保育園の民営化は考えられない。</p>
<p>アレルギーや障害を持つ子どもを受け入れる保育園を減らさないでほしい</p>	<p>・アレルギーや障害を持つ子どもが安心して過ごせる保育園を減らさないでほしい。私立保育園でも看護師・栄養士の配置ができるような補助制度を確立してほしい。          ・発達支援などの困難児を選別・差別化せず、混じり合って刺激し合うことが必要。</p>
<p>公立保育所は地域の子育てのアンテナ</p>	<p>・公立保育所がなくなると保育のパロメーター、地域の子育てのアンテナがなくなり、市が子どもたちの状況を把握できなくなる。          ・公立保育所は、地域の子育てアンテナとして地域と繋がるために不可欠な存在。</p>
<p>公立保育園がコストが高いのは仕方ない</p>	<p>・公的な機関として重要な役割を担っているもので、コストが高くて仕方ない。ベテラン保育士の給料も市の職員として長年勤続した結果である。</p>
<p>公立保育園の民営化は市のマイナスイメージ</p>	<p>・いまどき公立保育園を民営化してマイナスイメージをもたれるに違いない。子どものため、船橋市のために民営化の凍結を。</p>
<p>船橋市には公立の幼稚園がない</p>	<p>・保育園を選んだ理由に、特色ある早期教育等ではなく、子どもらしく十分に遊ばせてもらえ、地域にも開放的であると思い公立を選んだ。船橋市には公立幼稚園がなく、公立である保育園を選んだ。</p>
<p>認可外保育施設の支援による待機児童解消策を</p>	<p>・既存の認可外保育所にも、園庭用地の取得を支援し、「認可」保育所の総定員数充実を図るべき。認可外保育所にも保育のノウハウがあり、私立認可保育所の新設・誘致や公立保育園の民営化に比べたらハードルが低いはず。</p>
<p>自治体の事例を参考にすることは重要</p>	<p>・船橋市として初めて取り組む以上、良い例も悪い例も含め、他の事例を参考にすることが重要。他の反省点を踏まえ、より良い改革に取り組むことが市政として求められている。</p>
<p>反対者は、民営化以外の具体策を考えるべき</p>	<p>・民営化反対者も民営化以外の具体策を考えるべき。財政が厳しく現状維持が難しいならば、民営化以外の方法を模索するべき。</p>
<p>質が向上するならば、民営化は賛成</p>	<p>・多くの自治体でも保育所の民営化が最近の課題となっており、保育の質が向上することが見込まれるのであればいいと思う。</p>
<p>無理のない民営化ならば、賛成</p>	<p>・今の公立保育園に不満がある。子どもを不安にさせることなく民営化ができれば、今よりも楽しい保育園生活を送れるのではと期待している。無理のない民営化であれば賛成。</p>
<p>保育所・子育て支援の充実で税収の確保を</p>	<p>・保育園を充実させることは住民税収入を確保するためにも必要なはずである。待機児童を放置すると市の経済発展にマイナスとなる。保育園は、一握りの子育て世帯だけのためにあるのではない。「受益者負担」という言葉を出す方々には、このことを考えていただきたい。          ・ただでさえ船橋市の子供に対する福祉(医療費など)は他の自治体と比較しても良いとはいえないのに、民営化が失敗に終わったら、税収の元となる市民を増やす事が難しくなると思う。          ・子育て環境を整備すれば、働く世代が船橋に集まり、人口増加、税収の増加、少子高齢化を食い止める策になるのではないかと。「保育園の民営化」を議論するのではなく、「子育てがしやすい街」にするための議論を。</p>

保育のあり方検討委員会一次報告書に対する意見(電子メール提出分概要)

子どもたちに最低限の教育を	<p>・憲法で保障している教育の義務は、未就園児には適用されないのか。未来の子どもたちに最低限の教育を受けさせるために民営化は一つ的手段として考えられなくもないが、あまりに安易すぎる。未発達の園児も家庭の事情で不遇な子どもたちも最低限の教育を施すことを第一に考えてほしい。</p>
<p>II 保育のあり方に関する提言</p>	
<p>1. 保育所に入所を希望しているが入所できない待機児童への効率的な対応</p>	
<p>&lt;1&gt; 保育所待機児童への効率的な対応</p>	
緊急に保育所増設を	<p>・市が公立保育園を最後に設置したのが30年前。この間人口増、要保育児童の増加にもかかわらず、民間依存になっていた。こうした市の施策の遅れの結果、定員増をはかっているにもかかわらず待機児童が増えている。公私にわたる緊急で抜本的な保育所増設策を実施すべき。 ・待機児童対策は公立保育園の増設を。</p>
保育園の新設、増改築で待機児童解消を	<p>・私立保育所の新設や既存の公立保育所の増改築などで待機児童解消を図ってほしい。 ・現在保育園がない地域に新設することで、待機児童の解消につながる。引き続き保育園の増設について検討していただきたい。 ・保育園のない地区に新設してほしい。</p>
公私格差をなくし、高い基準で私立保育園の設置を	<p>・公立と私立保育所の格差は無くし、船橋市としての保育施設の設置基準を(国の基準よりも充実した保育となるような基準で)、定めようとして私立保育所の設置をしてもらいたい。</p>
質の低下による、量の拡大に懸念	<p>・今の国は待機児童のことばかり考えて、質を下げた施設の拡大をしようとしている。待機児童0の船橋市を目指すのではなく、保育の質と安全性が高い船橋市を目指してほしい。</p>
隠れた待機児童の実態の把握を	<p>・数字に表れない”隠れ待機”はまだまだいるはずである。申請するところにすら行きつけていない人がいるのではないかと。現在の待機児童よりも上乗せをして検討してほしい。</p>
認可外保育施設の役割・活用	<p>・認可外保育施設は、いわば認可園の隙間を埋める保育所だった。しかし現在待機児童の相当数を認可外保育施設で吸収している。認可園を待機している数＝保育に欠けている児童ではない。認可・認可外を含めた保育施設に入っている・入っていないという区別をすると、相当数が「保育施設に入所している」になり、保育所への入所待機数は激減する。公立園と認可外園を地域でグループ化し、公立園で行う研修会や園の行事に参加し、レベルの向上と協力体制を図る。市は保育行政の責任として認可外保育所の整備(補助金を交付して、保育の環境を整えさせ、認可に準ずるものとする)をする必要がある。市民も、保育の質に安心が持て、保育料が認可園並みになるとすれば、「何が何でも認可園」と言う考え方も淘汰されるのではないかと。認可保育所の建設には時間がかかる。また、今の需要増加は本当のものか。市は先ず、東京都や浦安市のように認可外保育施設の活用に力点を置き、保育施設への収容数を安定させることが必要。その後、利用者が居なくなるような施設建設にならないよう、十分な検証に立って新園の展開を進めるべきである。</p>
認可外保育施設への補助制度を	<p>・待機児童は切実な問題。10月から保育ママ制度が発足するが、委員会の中で何も触れられていない。認可外保育所と公立・私立保育園とで市が支出する金額の格差がある。これは人権の格差。認可外保育所の関係者の委員が格差について発言したが、全く反映されなかった。待機児対策の根本の問題、保育所に入れるのは行政の義務。これを放っておいてなぜ保育のあり方を語るのか。40年前から待機児童対策をしてきた認可外保育所に対しては何の補助もしないのに、市は自分たちがやる保育ママ制度には補助金を出す。人権の格差を拡大するものとしてしか言いようがない。認可外への認可園と同等の補助をすべき。 ・国は待機児童数に認可保育所申し込み以外の児童を除いていて、この中には認可外施設利用の児童も含まれている。認可外施設を認可施設を補完する保育施設として計算するならば、認可施設に準ずる運営費負担をすべきである。</p>
育児休業による保育所入所要件について	<p>・育児休業中の場合は、正当な保育に欠ける要件になるのだろうか。上の子を保育園に預けている人だけの特権のような気がする。近年は育児休業を1年以上取得できる職場も多くあり、育児休業中は一度、退園の方が平等なのではないか？</p>
求職中の保育所入所枠の確保について	<p>・求職中の人はまず公立保育園に入所できない。働きたいが保育園が見つからない、保育園が見つからないから働けない、この堂々巡り。認可外では高い保育料と満足でない保育の質に悩んでいる。地域の公立保育園が足りない。求職中の入所枠の確保を検討してほしい。</p>
幼稚園の預かり保育に対する市の補助と監督責任	<p>・幼稚園の預かり保育を利用する児童は保育に欠ける要件を満たしており、市の責任がある。適切な補助金と児童の発達を保障するソフト面の監督責任を望む。</p>
負担の大きい送迎にも着目を	<p>・流山市のように車で子どもの送迎ができるサービスやバス送迎など労力のかかる保育園の送迎にもスポットを当ててほしい。</p>
都市計画との連携を	<p>・船橋市の都市計画の中にも保育・教育関連の部署が関わり、適切な保育所の配置・管理をしてほしい。老若男女、全ての世帯が住みやすい街づくりを目指していただきたい。</p>
<p>&lt;2&gt; 一時保育制度の見直し</p>	
一時保育の見直しで、待機児童は減るのでは	<p>・育児休業中、「たまには一人でゆっくりしたい」という気持ちがあった。一時保育をもっと利用しやすくすれば、「母子分離したために働きにでる」人は減り、待機児童数も少しは減るのではないかと。</p>

保育のあり方検討委員会一次報告書に対する意見(電子メール提出分概要)

<p>&lt;3&gt;家庭での子育ての支援</p>	
<p>安い人手が得られる体制づくりを</p>	<p>・「家庭での乳児子育て」について考えることが「乳児の保育」について考えることになる。家庭保育する母親の調査を行うべき。相談ではなく人手の問題。地域の子育てを経験した女性や学生など、母親の子育てを安く手伝ってもらえる体制づくりができないか。</p>
<p>保育の枠のシェアでは質の担保は不可能</p>	<p>・保育園は第2の家庭。クラスの人数が安定しない環境は、保育の質の担保は不可能。</p>
<p>子どもと離れた親が増えて待機児童が増えたというのは本当か</p>	<p>・「子どもと離れた親が増えたので、待機児童が増えた」とあるが、景気の悪化による経済的理由のほうが多いのではないか。</p>
<p>2. 地域で暮らす乳幼児期の子どもと家族(特に3歳未満児親子)への支援のあり方</p>	
<p>&lt;1&gt;保育所の機能強化</p>	<p>・公立保育園を地域の子育て支援の拠点となるように人員を配置し、子育て支援センターを併設してほしい。</p>
<p>&lt;2&gt;子育て支援ネットワークの構築</p>	<p>・日々家庭で過ごす母子も児童ホームや保育所(園庭開放など)、地域ボランティアの子育て支援等に参加し、ママ友作りや子育てのヒントを得る機会や場所が広がってきているが、このような場に出ていくことができずにいる母子に対する支援をどうしたらよいか。地域の母子状況を把握するのも難しく、働きかけが難しい。保健センター(保健師)や民生児童委員、主任児童委員等の連携を積極的に進める必要がある。</p>
<p>&lt;3&gt;身近な相談体制の整備</p>	<p>・大賛成。子どもが1歳になる時、とても孤独で、家に閉じこもっていた。外出しようという前向きな気持ちにもなれず、誰かに助けてほしくて仕方がなかった。そんな孤独な母親が一人でも減るといいと思う。          ・核家族、転勤族のために、母自身がリフレッシュできる場や育児に困ったときにすぐ相談に飛びこめる場が近くにあるとよい。乳幼児健診、相談、教室等への参加については、地理的環境(交通面など)から赤ん坊を連れて市内まで出かけていくことは大変なので、行政側も地域に出向いていくことをさらに進めてほしい。          ・子育て支援センターが2か所しかない。歩いて行ける範囲にないと利用しづらい。公立保育園や公民館等公的施設の改修の時に、子育て支援センターを併設し、一時保育を行ってほしい。</p>
<p>3. 保護を必要としている子どもと子育て家庭への地域支援体制</p>	
<p>&lt;1&gt;要保護・要支援児童や家庭の支援の充実</p>	
<p>&lt;2&gt;障害児・発達支援児支援の充実</p>	
<p>&lt;3&gt;児童虐待対策の強化</p>	
<p>4. 保育施設など子育て支援施設の役割分担と連携</p>	
<p>&lt;1&gt;子育て支援施設などの適切な役割分担</p>	<p>・子育て環境が充実している他市の状況を勉強し、ぜひ取り入れてほしい。船橋市は児童ホームはあるものの、部屋も狭く、数も少ない。親身になって相談に乗ってもらえるような場所もない。          ・保育を必要とする子供、保護者はさまざまな環境の中で生活しているので、多様な子育て支援環境があってよいと思う。公立、民間、一時保育等々、その時々、おかれた環境に応じて子供や保護者が「選べる」ということが理想的なのではないか。</p>
<p>&lt;2&gt;子育て支援施設などの連携の強化</p>	<p>・この委員会が終わった後も、継続して船橋の子どもたちのことを議論できる場を保障してほしい。</p>
<p>&lt;3&gt;保育施設の交流の促進</p>	<p>・公立保育園主導で、私立保育園、幼稚園、小学校低学年までの関係者や地域の人が一堂に集まる勉強会・交流会を開催できないか。</p>
<p>5. 既設保育所の耐震対策、保育の環境整備と質の担保</p>	
<p>&lt;1&gt;公立保育所の耐震対策</p>	<p>・今年度は3園が耐震工事の予定となっており、安全な保育のためにも必ず実施していただきたい。毎年数園ずつでも着実に耐震補強工事を施工してほしい。          ・既設保育所の耐震対策と民営化が一体化して議論されているが、本来、園児や職員の生命を守る為の耐震対策は民営化と関係なく粛々と進めるべきものと考えます。公設で建て替えても地方交付税から交付されるのではないか。阪神淡路の震災を見た者としては、これは分けて考えてもらいたい。          ・耐震工事とからめて民間委託しようとする意味がわからない。</p>

保育のあり方検討委員会一次報告書に対する意見(電子メール提出分概要)

	<p>・「保育サービスを低下させないでこれを行うのは財政的にも大きな負担を伴う」とあるが、具体的にいくら必要なのか、いくら足りないのか書かれていない。「民設で建て替えることで国の補助が得られる」と書かれているが、国は工事費の何パーセントを補助してくれるのか。その具体的な説明もない。</p> <p>・保育園の耐震強度問題がどうして進まないのか。市立小学校は進んでいる。同じ市立なのだから早急に進めてほしい。</p>
<p>&lt;2&gt; 保育の環境整備</p>	<p>・市の22年度予算では、児童福祉費に3割以上が割り当てられ子育て支援を重点施策としていると思う。今後も引き続き保育所費を重要視し予算が削られることのないようにしていただきたい。</p>
<p>&lt;3&gt; 保育の質の担保</p>	<p>・正規職員が減少していることを民営化で補う意見に疑問を感じる。そもそも正規職員が減少している原因は何か。子どもの生活の場であり、職員の働く場でもある保育所の現状をもっと把握し、より良くしていく行政であってほしい。</p> <p>・船橋市のこれまでの保育の歴史と今後の新たな政策で”船橋らしい保育”を実施し、住む場所を選びたくなる、住む場所に薦めたくなる市にしてほしい。</p> <p>・保育の質の担保とは、保育者が経験年数を積むことができるかということ。公立・私立ともに、長年働き、経験を積み重ねてよりよい保育ができるように、市が公私間格差をなくしてほしい。</p> <p>・正規比率低下について、職員削減により財政効果があるのであれば、責任体制の問題は別にして、公立保育園運営費用(財政)上は問題ないのではないか。民営化による職員削減で財政効果があるという記載部分と矛盾を感じる。</p>
<p>一次報告書の項目なし・その他</p>	
<p>委員会自体について</p>	<p>・8回の会議をたった5か月で開催し、「一次報告書」が出されている。報告書の低い完成度を見れば明らかのように、期間が短すぎる。多様な意見をもつ委員の間に合意を形成するに至っていない。為政者である市長が判断の材料とすべき答申の形には遠く届かない報告書が、唯一の成果物となってしまったことは非常に残念。</p> <p>・議論のしやすい環境を作ることと傍聴人を増やさないことは別問題。傍聴人の多寡で発言できないような委員はやめるべき。</p> <p>・「検討委員会」には待機児童の保護者が参加していない。一時保育や祖父母・近所の応援を総動員して凌ぐ保護者、幼稚園の預かり保育を利用して働く保護者、少なくともこれら2通りの利害関係者を欠いたまま、議論が行われている。さらに他市などで委託を受注した実績のある法人を参考人として招請し、話を聞くことはできたのではないか。</p> <p>・委員に在園している保護者や公立園の先生など、実際の現場の人が不在で不公平。</p> <p>・保護者の立場の人が2人しかいない。1人は元保護者。保護者から集まる意見を重く受け止めてほしい。</p> <p>・保護者委員つまり市民委員が2人というのは少なすぎる。保育園保護者ではない親を入れることを含め市民委員を増やしてほしい。また、会長の人選について、選任理由が分からない。会長は他の自治体で民営化を支持・推進してきた人物であり、民営化ありきで市は依頼したのではと疑う。委員自らが手掛けた他市の事例を検討するのはお手盛りになる。民営化政策の事後評価は第三者的機関が行うべき。今の委員会構成での結論に疑念を抱いている。</p> <p>・委員がどういう基準と経緯で人選されたのか市民に伏せられている。市民の代表委員という資格から程遠いもので構成される秘密委員会。民主主義の名を汚す委員会。</p> <p>・そもそも3つの論点が狭義である。また、「公立保育所の民営化」のみ、最初からすでに保育の現状の課題に対する対策案になっている。複数の対策案の中から最適な案を選択することに意義があり、市側の考えで初期段階で絞り込むのはやめてほしい。現状の複数ある問題点の緊急度や背景がわからないので、市民にとって分かりやすく提示してほしい。</p> <p>・公立保育園の民営化に向け、十分な議論を尽くしたという市のアリバイ作りしているに他ならない。委員会は実質的に市行政の下請け機関であり、公立保育園の民営化によりさまざまな問題が起きたとき、その責任の一端は委員の委員会運営にある。</p> <p>・なぜ今この委員会が作られたのか。「民営化を進める会」としか思えない。本当に子どものことを考えた話し合いをしてほしい。</p> <p>・特定の市議会議員と市が密談で民営化を決めていて、市民には「あり方委員会で検討した結果」というためだけの会と思った。</p> <p>・公立保育園民営化を船橋市も実施するかどうかを判断する根拠が委員会で全くと言っていいほど示されていない。これでは民営化の結論ありきで委員会は通過儀式に過ぎないと思う。市は、他市の先行事例でのメリット・デメリットを総合的に検討し、公開すべき。検討は「保育のあり方委員会」の委員が参加しない別の組織が行うか、シンクタンクに委託するのがいい。</p>

保育のあり方検討委員会一次報告書に対する意見(電子メール提出分概要)

<p>委員会での議論について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育のあり方とあるが、内容のほとんどが公立保育園の保育士の給料の話で、これからの「保育」のビジョンがあれもこれもよく分からない。</li> <li>・報告書には保育園に通う子ども以外への支援についても書いているが、議事録を読むと、ほとんどが公立保育園の人件費や民営化についてである。</li> <li>・あいプランや子育てナビゲーション記載があるものが転用されていて、有識者や育児従事者の委員の共通認識の時間が多すぎる。</li> <li>・委員は公立・私立保育園、幼稚園、子育て支援センターの視察をしたのか。子どもの話を聞いたのか。</li> <li>・税金の使い方を考えるなら、議題をそのように限定すればいい。</li> <li>・子どもや家族にとって保育園の生活は生活そのもの。もっと真剣に話し合いをしてほしい。</li> <li>・市から求められた検討をおざなりにしている。</li> <li>・「公立の質を保とう」とい意見が主になっているが、民営化が進められているとすれば、委員会はただのパフォーマンス。</li> <li>・委員会での検討結果が船橋市の保育として有意義になるよう、主観的な意見交換だけでなく、最終的にきちんと形を残してもらいたい。</li> <li>・委員会は、児童福祉法や児童憲章に謳われている近代的児童観と児童福祉の理念を議論の共通の基盤としておくべき。安易な規制緩和と民営化の風潮に流されることなく論議をつくしてほしい。</li> </ul>
<p>一次報告書全般について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと内容をはっきり決めてほしい。</li> <li>・意見集約に失敗している。会長個人の識見に沿った報告書に、付帯意見として様々な立場の委員の言葉が継ぎはぎに添えられただけのもの。当地における民営化反対運動の歴史を勉強されていれば、民営化反対派委員の心情を理解し、より建設的な意見交換も可能であったはずである。民営化絶対反対の立場をとった委員は、「民営化ありきの『配慮』について記載すべきでない」として、市長に訴えるべき「民営化するとしたら市がとるべき配慮」を詳細に報告書に記載するチャンスをみすみす捨てようとした。感情的な反対は論点の抜けを生むだけでなく、かえって私たち保護者の不利益となりかねないことを指摘しておく。</li> <li>・公立・私立の質の違いを議論すべきでなく、保育所の役割を果たすことを求めるのであれば、費用面から民営化して財政負担を減らすべきだが、委員の中で意見がまとまっていないのが不思議。民営化が論点の一つになっているのも関わらず、両論併記で逃げているのは問題。委員会の役割を果たしていない。</li> <li>・「子どもとは少し離れたたいという気持ちを持つ母親」という表現は誤解を生むので改善すべき。</li> <li>・第8回委員会において、原案に委員の意見を反映させて正式な一次報告書を書くと言っていたが、出来た報告書との違いが分からない。結局修正していないのではないかと疑う。</li> <li>・各論点・提言内の問題点や課題が、異なるカテゴリ内で重複している部分があり、理解しにくい。様式にも配慮してもらいたい。</li> </ul>
<p>車座ミーティングについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大いに失望した。市と市民の意見交換だと思ったが、「市民の意見だけ聞きます、個別回答はしない」というのでは、あまりに一方的ではないか。既成事実を作るための会、ただのガス抜きだったのではという印象がぬぐえない。</li> <li>・周知期間が短かった。なぜ早急に進めるのか。子どもたちの将来を大きく左右する大切な委員会。多くの人に周知できる期間を設ける努力をしてほしい。</li> <li>・ある市議会議員が、このミーティングの感想をブログにあげ、公然と市民を「モンスターペアレント」呼ばわりする態度に、悲しみと失望を感じた。強く抗議したい。</li> <li>・出席した親を「モンスターペアレント」と書いている。議員の発言だということを分かっているのか。</li> </ul>
<p>保育施策について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国に公立保育所運営費を復活させ、公立保育所建設・整備費助成を特定財源に戻させて、国が当然果たすべき責任を全うするよう求めるべき。また、耐震改修を含む保育所施設の老朽化は全国共通の問題であり、政府に対処策を求めてよい課題。</li> <li>・今度出される、子ども指針(仮)では地方自治体の裁量が大きくなっている。国が誤った舵取りをしているのなら、地方自治体がリミッターになることもできるはず。「未来への投資」に重点を置いた船橋市政であってほしい。</li> <li>・市では「幼保一元化」は考えていないのか。興味がある</li> </ul>
<p>市民意見の取扱いについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての意見を原文そのまま委員に提示してほしい。</li> </ul>